

形から使い方を考え、根拠を見直そう

1 行く前 — 予想と、見たいことを決める

出発前に公式情報で開館日・利用条件を確認してください。活動は自作の学習案です。資料・遊具の当日の利用は施設の案内に従います。

公式案内から：鈴鹿市内から出土した土器・石器・瓦などを扱う、考古学の博物館です。

公式案内から：市公式は、常設展示で考古資料のほか遺跡の模型などを紹介していると案内しています。

1. 石や土でできた道具を一つ思い浮かべ、何に使った道具か予想してみよう。

2. 道具の使い方を考えるとき、形のどこを手がかりにできそう？『先が細い』『平たい』など二つ書こう。

詳しい使い方・公式情報・大人向けの振り返り例：

<https://miesenseilab.com/learning/local/suzuka-kouko/>

施設の公式案内を開く 確認日：2026-10-23

小学校中学年程度と家族を想定した試作。所要時間・難度・学習効果は実際の利用で未確認です。

形から使い方を考え、根拠を見直そう

2 現地 ― 見たことを、自分の言葉で残す

見えたこと／表示で読んだ説明／自分の考えを分けます。写真は必須ではありません。対象が見つからない・使えない時は、別の資料や表示を選び、難しければ「未確認」と記録して帰宅後に考えましょう。

1. 常設展示室などで見られる資料から一つ選ぼう。石器・土器に限らず、見つけた資料や模型でもよい。まず見える形・模様・大きさを、推測を混ぜずに二つ記録しよう。

見えた事実だけを書く。例：『端がとがっているように見える』『表面に線がある』。触る、撮影する、採取する必要はありません。

2. 選んだ形は何に役立ったと思う？『予想』として一つ書き、そう考えた形の手がかりを結び付けよう。

『見えたこと』と『そこから考えたこと』を別の欄にする。正解を急がない。

3. 予想と違う使い方もありそう？どんな追加の証拠があれば、二つの考えを比べられるか考えよう。

別の考えを一つ、確かめたい証拠を一つ書く。館員への質問や撮影は必須ではありません。

詳しい使い方・公式情報・大人向けの振り返り例：

<https://miesenseilab.com/learning/local/suzuka-kouko/>

施設の公式案内を開く 確認日：2026-10-23

小学校中学年程度と家族を想定した試作。所要時間・難度・学習効果は実際の利用で未確認です。

形から使い方を考え、根拠を見直そう

3 帰宅後 — 記録を比べ、次の問いへ

前の2枚の記録を見ながら進めます。正解を一つに決める活動ではありません。自分が見たことと、そう考えた根拠を言葉にしましょう。

1. 現地で記録した『見えたこと』と『予想』を読み分け、予想を支える手がかりに丸をつけよう。

2. 予想を変えるなら何をどう変える？変えないなら、どの証拠が納得につながった？

3. 行く前の予想と現地での記録を比べ、次に博物館で確かめたい問いを一つ作ろう。

詳しい使い方・公式情報・大人向けの振り返り例：

<https://miesenseilab.com/learning/local/suzuka-kouko/>

施設の公式案内を開く 確認日：2026-10-23

小学校中学年程度と家族を想定した試作。所要時間・難度・学習効果は実際の利用で未確認です。